

## 全47都道府県幸福度ランキングにおける本県の状況（推移）について

平成30年6月11日  
とっとり元気戦略課

- （一財）日本総合研究所及び日本ユニシス（株）総合技術研究所が「全47都道府県幸福度ランキング2018年度版」を5月31日に公表。
- 本県の総合順位は14位

【全国の総合順位の上位】1位 福井県、2位 東京都、3位 長野県

【本県の状況（推移）、単位：位】

|       | 総合<br>ランキ<br>ング | 基本指標、5分野ランキング |    |    |    |    |    |
|-------|-----------------|---------------|----|----|----|----|----|
|       |                 | 基本指標          | 分野 |    |    |    |    |
|       |                 |               | 健康 | 文化 | 仕事 | 生活 | 教育 |
| 2012年 | 8               | 6             | 38 | 31 | 12 | 5  | 3  |
| 2014年 | 4               | 5             | 27 | 18 | 6  | 2  | 2  |
| 2016年 | 8               | 11            | 23 | 28 | 10 | 5  | 2  |
| 2018年 | 14              | 14            | 25 | 42 | 14 | 2  | 8  |

【2018年版の概況】

- ・生活分野は2位（前回5位）とトップクラスで安定。特に、地域領域<sup>※1</sup>（1位）で各指標の順位が高く、地域に根差した安定した生活が営まれているとの評価。
- ・一方、文化分野が42位（前回28位）と大幅にダウン。  
 <主な要因等>
  - ・余暇・娯楽領域での「余暇時間」「常設映画館数」が大きく下がっている。
  - ・「常設映画館数」は前回調査まで館数÷総人口で算出していたが、シネコンの増加を考慮して、スクリーン数÷総人口で算出するようになったことが要因。

※1 地域領域：居住する地域の衛生面や利便性の現状とともに、資源循環など持続性が高い生活という新しいライフスタイルを確保できる環境、地域における人と人とのつながりを表す。

【教育分野における各指標の状況（推移）、単位：位】

<学校領域>

子どもたちが大人になった際、自立した個人として生きていくための教養・素養を身につける学校教育の環境を表す。

|       | ランキ<br>ング | 現行指標 |          | 先行指標 <sup>※2</sup> |       |                  |
|-------|-----------|------|----------|--------------------|-------|------------------|
|       |           | 学力   | 不登校児童生徒率 | 司書教諭発令率            | 大学進学率 | 教員一人当たり<br>児童生徒数 |
|       |           |      |          |                    |       |                  |
| 2012年 | 5         | 6    | 40       | 1                  | 35    | 5                |
| 2014年 | 7         | 21   | 31       | 1                  | 36    | 5                |
| 2016年 | 7         | 19   | 28       | 1                  | 45    | 3                |
| 2018年 | 15        | 28   | 34       | 1                  | 46    | 3                |

<社会領域>

老若男女にかかわらず新たな知識に触れることで知的欲求を満たし、また学校教育や家庭内教育を補うだけでなく地域社会を豊かで健全なものにする社会教育の環境を表す。

|       | ランキ<br>ング | 現行指標  |                | 先行指標 <sup>※2</sup> |         |                   |
|-------|-----------|-------|----------------|--------------------|---------|-------------------|
|       |           | 社会教育費 | 社会教育学級・<br>講座数 | 学童保育設置率            | 余裕教室活用率 | 悩みやストレス<br>のある者の率 |
|       |           |       |                |                    |         |                   |
| 2012年 | 3         | 4     | 4              | 26                 | 28      | 29                |
| 2014年 | 2         | 3     | 1              | 27                 | 28      | 29                |
| 2016年 | 2         | 1     | 1              | 28                 | 1       | 38                |
| 2018年 | 11        | 4     | 7              | 37                 | 1       | 38                |

※2 先行指標：目指すべき方向の議論を深める上で参考となる指標。

※3 出典の主体は一部を除き文部科学省（学童保育の実施状況調査結果は全国学童保育連絡協議会、国民生活基礎調査は厚生労働省）

【都道府県幸福度ランキングとは】

（一財）日本総合研究所が「全47都道府県幸福度ランキング」として発表。今回4回目。人口増加率などの基本指標と、分野別指標（健康、文化、仕事、生活、教育）など全70指標により都道府県の幸福度を算出。

<参考> 出典一覧

| 領域 | 指 標           | 出 典 ※()内は調査実施主体                  |
|----|---------------|----------------------------------|
| 学校 | 学力            | 全国学力・学習状況調査（文部科学省・国立教育政策研究所）     |
|    | 不登校児童生徒率      | 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省） |
|    | 司書教諭発令率       | 学校図書館の現状に関する調査（文部科学省）            |
|    | 大学進学率         | 学校基本調査（文部科学省）                    |
|    | 教員一人当たり児童生徒数  | 学校基本調査（文部科学省）                    |
| 社会 | 社会教育費         | 地方教育費調査（文部科学省）                   |
|    | 社会教育学級・講座数    | 社会教育調査（文部科学省）                    |
|    | 学童保育設置率       | 学童保育の実施状況調査結果（全国学童保育連絡協議会）       |
|    | 余裕教室活用率       | 余裕教室の活用状況について（文部科学省）             |
|    | 悩みやストレスのある者の率 | 国民生活基礎調査（厚生労働省）                  |